

Nippon 機械産業の新たな挑戦

——リスク⇔コスト, 分散⇔集中, 自前⇔連携をめぐる新思考と「挑戦社会」

12月9日(金) 10:00-17:30(開場9:30)お名刺持参

機械振興会館 B2 ホール

世界中で機械産業の活動基盤が不安定化している。東北震災～タイ洪水など自然災害から、先進経済の不安定化(円高)、さらにCO2や原発・電力などの資源エネルギー問題。立ち塞がる「世界の課題」に挑戦する日本機械産業であるにはどういった態勢や仕組みを追求すべきか? 日本機械産業の「新たな相貌」に向けた問いかけ(問題提起)を行う。

本フォーラムは、機械振興協会経済研究所(関東甲信越)、(財)九州経済調査協会(九州地区)、名城大学地域産業集積研究所(中部地区)の3組織による連動調査結果を受け、全国視点だけでなく、関東甲信越、中部、九州など「地域」における取組も強調する。結果的に東北への示唆にもつながれば幸いである。

10:00～	開会の辞、趣旨説明	経済研究所 所長、増田 峯明	キーワード
10:15～	ご挨拶 および最近の政策動向	経済産業省 製造産業局 参事官 池森 啓雄	・日本再生戦略 ・空洞化対策、ほか
10:45～	特別講演 「復興を超えた飛躍的成長に向けて」	経済産業研究所 上席ファカルティフェロー 東京大学新領域創成科学研究科 教授 戸堂 康之	・前向きグローバル化 ・地域産業集積深堀り ・「臥龍」企業、「情報」
昼休憩			
13:00～	3組織連動調査ご案内	北嶋守、調査研究部長	
13:05～ 午後1 自動車セッション	大変革期にある 「自動車産業」を 地域から 見直すとき	3組織代表報告: 太田志乃、研究員 サブ報告: 結城智里、調査役 質疑応答: 平田エマ、九州経済調査協会 同上: 田中武憲、名城大学地域産業集積研	・震災、タイ洪水SCM ・在庫以上に製品企画 や仕様の見直し共通化 ・地域発Smart Vehicle
休憩			
14:40～ 午後2 地域中小セッション	震災後における 「中小製造企業」の 新たな挑戦	中部: 田中武憲、名城大学地域産業集積研 九州: 南伸太郎、研究員、九経調 関東甲信越: 山本聡、研究員	・中小アンケート結果 ・中部、九州、関東の特色 ・国際化と内需深堀、情報
休憩			
16:05～ 午後3 新たな相貌 セッション	総括と提言: 再びの開国と 「挑戦社会」	航空機部品、山本匡毅、研究員	・地域中小の可能性、課題
		電機電子産業: 近藤信一、研究副主幹	・対災害SCM、スマート化
		総括と提言: 井上弘基、研究主幹	・SCM、・団体アンケートにみる新役割と 海外情報、・2つのスマートと競争力、 ・挑戦社会と「地域」
～17:30	閉会の辞	宮本光一郎、企画管理担当室長	